

# 2010年

## 安全・安定輸送確立と 全力をあげよう! 不採用事件解決に向け



組合員の購読料は  
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部一  
発行責任者 石上浩一  
編集責任者 常盤達雄

No.1718 定価  
15円

2010年

1月5日

国労東京スキー大会  
3月3日～4日  
湯沢パークスキー場  
参加費 一万二千元

組合員・家族の皆さん新年あけましておめで  
とうございます。年頭にあたり、地方本部を代  
表し挨拶を申し上げます。  
国労の最大の課題であるJR不採用事件につ  
いてであります。

JR不採用問題では、「四者・四団体」と共  
に政治的・全体的解決の実現に向け、昨年の「政  
治決断を求める二・一六集会」をはじめとした  
集会の成功や、関係省庁・機構要請・院内集会  
の取り組みや地元国会議員への要請行動などを  
継続し、政府・与党に決断を迫ることを基本に、  
大衆行動を展開してきました。その結果、地方  
議会においては意見書採択の拡がりを見せるな  
ど、解決に向けた世論・環境を大きく促進させ  
てきました。



### 組織拡大が最重要課題 執行委員長 石上浩一

昨年おこなわれ  
た、第四五回衆議  
院選挙では、半世  
紀にわたって第一  
党の座を確保し続  
けてきた自民党に  
国民の厳しい審判  
が下され、劇的な「政権交代」を実現させました。  
鳩山新政権が民主・社民・国民新党の連立内  
閣でもあり、今後の政局の動向を慎重に見定め  
つつも、今日までの到達点である「政局に絡め  
ず、人権・人道問題として解決すべき」との当  
時の与野党代表の態度表明を生かし切するため、  
地元衆議院議員への要請行動、各県・地区の  
一〇〇カ所集会を開催。また、昨年の「JR不  
採用問題の解決に向けた二・一六集会」には  
与党・民主・社民・国民新党、公明党・共産党  
の各政党の代表が出席して「人道・人権の問題  
として解決に努力しよう」と改めて決意がのべ  
られました。これを背景に解決まで団結を乱さ  
ず、政治的合意を形成する政治環境と解決への  
テーブルを作り出さなければなりません。それ  
らを背景に、二月一六日を解決の日になるよう  
決意を固め、機関に集中した取り組みを訴えま

JR会社の、健全な企業発展・健全な労使  
関係を求め、そして労働条件・職場環境改善の  
取り組みについて申し上げます。  
安全かつ安心して働き続けることのできる明  
るい職場づくりはJR会社との健全な労使関係  
なくしてあり得ず、そしてまた安全・安定輸送  
の確立も対等な労使の自覚と責任なくしては  
成し得ないと考えています。昨年の信濃川発電  
所において発生した不正取水等の不祥事につ  
いて、会社として、事実に関して説明と「過去」  
に対するお詫び、地域との共生について等地元  
に説明をおこないました。失われた信頼を回復  
する為にも、労使が「安全・安定輸送」につ  
いて向き合う事が課題だと言っても過言ではあり  
ません。私たちは、会社が実施する施策の具  
体的な問題点について注意喚起し、時には事故  
発生危険な芽を取り除き、未然に防止する努  
力と再発防止を提言していくことが必要であり  
ます。また、「安全が最優先される」企業文化  
の定着を求めていかなくてはなりません。  
そのためにも、「安全・安定輸送」の確立に  
向け、安全対策委員会・業務検証委員会などの  
取り組みを通じて事実の検証を図るとともに、  
「仕事総点検運動」・「安全総点検運動」を定着  
させていきたいと思っております。合わせて、安心し  
て働きがいのある職場作りをめざし、労働条件  
の改善・教育・技術継承・人材育成などにつ  
いてしっかりと会社に求め、「技術力の維持向上と  
継承・発展」にむけ改善していくことも労働組  
合の重要な役割だと考えています。  
緊急かつ急務な課題である、組織拡大の取り

組みについて申し上げます。  
地方本部は昨年同様、組織強化・拡大に向  
け、組織対策プロジェクトを設置します。新採  
対策・復帰加入対策・ポスター・チラシなどの  
作成をはじめ、駅から車掌対策・職場オレグ行  
動、組対会議・交流会・契約社員の組織化など、  
誰でも出来ることをやりきる体制を確立するに  
は、あらゆる情報を全体に共有化することだと  
考えます。  
何よりも、職場で誰からも信頼される人間関  
係を作り、相手の気持ち・心をつかみ、加入の  
一声をかける自信と確信を持ち、粘り強く組織  
拡大運動を作り上げていくことを訴えます。こ  
の取り組みは、職場の活力を生み出し、明るく  
楽しい分会活動という活性化をもたらしていま  
す。  
昨年の大会以降において四名が国労に復帰・  
加入していただきました。  
今日まで、培ってきた大きな力を弾みに、組  
織強化・拡大を最重要課題と位置づけ、全ての  
職場から組織拡大に向けた取り組みの強化を改  
めて訴えます。  
今年は、昨年の世界的な株安・急速な円高を  
引き起こした「ド  
バイ・ショック」  
を受け、物価下落  
が続く「デフレ」  
対策、失業者の増  
大など、どのよう  
に歯止めをかける  
のか、今の連立政権の最大課題は「生活再建」・  
「内需拡大による景気回復」でもあります。あ  
わせて、「総合交通体系」や「地球温暖化防止」  
の視点に立った「交通基本法」の制定は、「コ  
ンクリートから人」への政策転換の中で「公共  
輸送ネットワーク」の維持、地方生活路線の維  
持・存続など懸案の課題を新しい政策的枠組み  
の構築として捉えかえしながら、今後、積極的  
に取り組む必要があります。  
私たちは、今日まで築き上げてきた闘いに自  
信と確信を深め、生活と雇用を守り、反戦・平  
和、民主主義・護憲を掲げ、新政権の真価が問  
われる七月の参議院選挙の必勝を目指し奮闘す  
る年にしたいと考えています。  
当面する、国労の諸課題の実現にむけ、組  
合員・家族の先頭に立つ決意を申し上げ、年  
頭の挨拶といたします。

- |             |        |
|-------------|--------|
| 執行委員長       | 石上 浩一  |
| 執行副委員長      | 稲荷 靖   |
| 書記長         | 松川 聡   |
| 財政部長        | 鎌田 博一  |
| 組織部長        | 宮崎 浩則  |
| 調査部長        | 海老原 悟  |
| 教宣部長        | 常盤 達雄  |
| 政治部長        | 中澤 和夫  |
| 福対部長        | 山田 博樹  |
| 執行委員        | 横倉 一夫  |
| 執行委員        | 恒本 肇   |
| 執行委員        | 岡野 嘉明  |
| 青年部長        | 松尾 郁弥  |
| 婦人部長        | 阿部 美津子 |
| 会計監査員       | 広瀬 裕二  |
| 〃           | 千代村 直孝 |
| 〃           | 谷川 春男  |
| 〃           | 新井 清一  |
| 〃           | 小俣 勝美  |
| 〃           | 佐藤 誠   |
| 〃           | 井口 栄子  |
| 〃           | 小川 美智子 |
| 職員          | 市村 和子  |
| 【国労議員団】     |        |
| 団 長         | 佐藤 洋二  |
| 【国労家族会東京地連】 |        |
| 会 長         | 青柳 清美  |
| 【鉄道退職者会】    |        |
| 会 長         | 羽切 信夫  |



# この一年を組織拡大の年に!

## 武蔵小金井駅連分会

### 加入歓迎会開かれる

11/28

八王子地区本部武蔵小金井駅連分会では、一月に相次いで国労に加入した四八才の岡本さん・二六才の中島さんの歓迎会を一月二八日に立川地区協事務所でおこなった。近隣の西国分寺駅連分会や国立駅分会の仲間。上部機関からの来賓も含め二〇名が参加した。



岡本さん 国労へ  
中島さん よ

内堀分会長のあいさつのもと、東日本本部高野委員長、東京地方本部石上委員長、八王子地区本部小山委員長からそれぞれあいさつがあった。続いて加入した岡本さんから「加入直前に皆さんと旅行に連れて行ってもらったが、本当に楽しかった。四八才なので、退職まで一〇年ちょっとですがよろしくお願ひします」、中島さんからは「入社した時から東労組にはいい感情を持っていなかった。いつかぬきたいと思っていた」などのあいさつがされた。

### 取り組みは続く

この歓迎会の喜びもさめやらぬ武蔵小金井駅連分会から、一月六日に、さらに一名の国労加入が報告された。今回はこれまで未加入だった二六才のグリーンスタッフの方で、「職場でいろんな事を聞き、東労組に入るつもりはありませんでした」と国労加入を決断してくれた。

今後私たちは、グリーンスタッフの国労加入促進を図るとともに、東日本本部・地区本部・支部・分会が連携し、正社員化に全力をあげていかなければならない。

またまた  
12/6付  
26才グリーンスタッフ加入

## 武蔵小金井駅連分会

## 自動車支部

二月九日、地本会議室に於いて第六六回自動車支部定期大会が開催された。磯部委員長は、「採用差別事件の早期解決。職場の労働条件改善の闘い。組織拡大を支部としても最重要課題として取り組むので、具体的に踏み込んで組織拡大について本大会で議論をしてほしい」と挨拶。

来賓として、野々口全国自協議長が「自動車の現状報告。ツアーバス問題が解決出来るよう取り組む。路線バスの定時運行に支障がでている。東海では瀬戸支店廃止。西日本は紀伊支店の廃止。国労としては地方の再生に力を入れていかなければならない。メガライナー火災事故については、原因を究明して行かなければならない」、続いて東日本交運共済・宮坂本部長から。松川東京地本書記長からは「第六〇回地方大会の報告。大会以降三名の加入があった。JR不採用事件の経過と報告。国労訴訟については年度内解決を目指す取り組みと協力の要請」小島全国自協事務局長「中国三、東海一、関東一、東北一」のバス社員の国労組合員がいる」等の挨拶を受けてきた。

続いて支部財政決算報告と予算案を石井執行委員より、運動方針案を唐澤書記長から提起された。

代議員から多くの意見や職場報告がなされ、指導運転手の取り扱い問題、休日(年休)申し込みの取り扱い問題、下諏訪支店への助勤問題、新規路線の訓練問題など多くの建設的意見が出された。



国労自動車支部第66回定期

唐澤書記長から、個々の問題点を支部として集約し事務折衝や団交を通じて、労働条件改善にむけ奮闘していきたいと集約がおこなわれた。

## 中央支部

新委員長のもと、組合員一九九名となった。決議を行い第六六回大会を終了した。

一月一四日に中央支部第二三回定期支部大会をJR新宿ビルにて開催した。中央支部は、JR東日本・東海・貨物会社以外に、鉄道運輸機構国鉄清算事業本部や鉄道総合研究所・日本テレコム・鉄道情報システムといった職場で働く組合員で構成された支部で、互いの職場実態を突き合わせるだけでも大変な状況である。

大会では、組合員が高齢化する中で、多くの代議員から定年後の不安が訴えられた。各会社で「改正高年齢者雇用安定法」に基づいた対応が図られているが、会社の努力目標という事で、希望者全員の安定した雇用、高齢者が安心して働ける労働条件が確保されているとはいえない。支部内でも再雇用先が見つからずに退職せざるを得ない組合員が出るなど、制度の改善要求をはじめ、組合としての対応は急務であるといえる。

職場毎に抱える問題に違いはあるものの、大会では、支部が組合員一人ひとりの付託に応えられるよう、分会と協力し合いながら頑張ることを確認して終了した。

## 大井工場支部

大井工場支部第九〇回定期代議員会が、一月一五日東京総合車両センター・食堂で開催された。

代議員会は、一〇時より木村副委員長の司会で始まり代議員二〇名中一八名の出席を確認し、議長には古賀代議員(車体科)・副議長には安富代議員(台車科)を選出。支部を代表して挨拶した大平委員長は、①不採用事件の早期解決に向けた取り組みについて、②安全問題について、③労働条件改善に向けた闘いについて、④組織強化・拡大について、支部が一年間取り組んできた経過を含めた報告、挨拶を行った。



大井工場支部第90回

その後東京地本松川書記長を含めた区内一〇団体・労組からの激励と連帯挨拶を受け、一括して経過と方針提起を佐藤書記長より受けた。

経過と方針に対する討論では七名の代議員より、①職場での外注化の調査と改善に向けた取り組み、②昇進試験の改善に向けた取り組みと要請、③六〇歳以降の再雇用先の要請、④運転無事故表彰における考え方、⑤組織拡大の取り組みについて、⑥技術・技能継承問題についてなどの発言があり、各部での答弁の後佐藤書記長より、今回本社から提案された「外注化」問題について支部として特別な体制の取り組みの強化を図るとしつつ、①不採用事件の早期解決に向けた闘いについて、②故障のない安全な車両提供と労働条件改善に向けた闘いについて、③組織強化・拡大の取り組みについて、④一〇春闘について、⑤平和と民主主義を守る闘いなどの集約を行い、木村新委員長以下新役員を選出し成功裏に終了した。

医療の進化にあわせた、  
アフラックのいちばん新しい  
「がん保険」です。

生きる気持ちに、本気で応える  
アフラックの  
がん保険

「生きる」を創る。  
Affac

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)  
東京第二法人営業部  
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル  
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

〈募集代理店〉  
アベニール 株式会社  
電話 03-3437-6810 27223 03-3437-6822  
〒105-0004 東京都港区新橋9-15-5 交通ビル3F

〈取りまとめ先〉  
(財)国鉄労働会館東京地方部  
R電話 054-2548 27223 03-3806-9275  
電話 03-3806-9264  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1

資料請求したいお客様は個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。  
©詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF104-2008-0124 4月18日